

全国はなのまちづくり活動

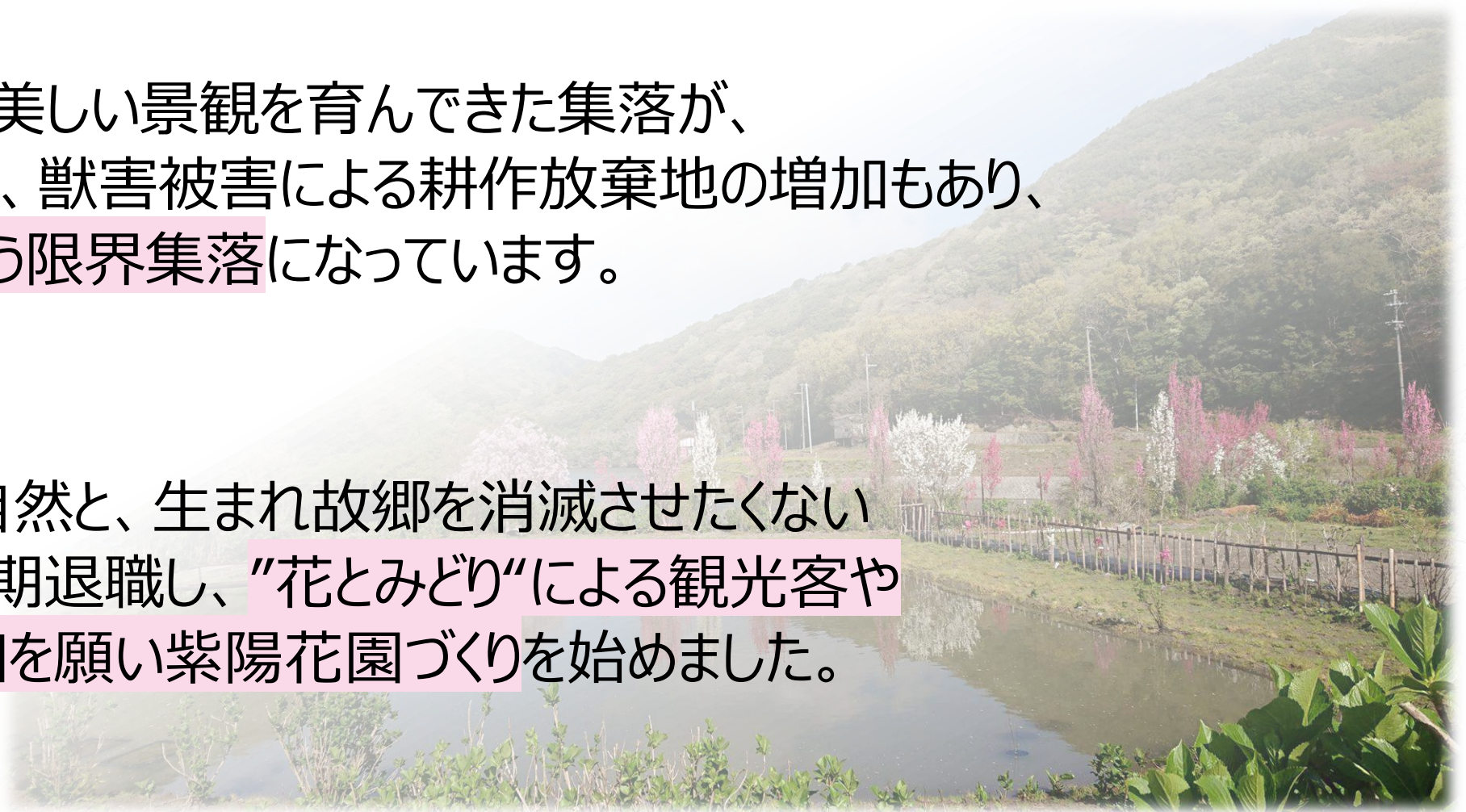
源流の郷 あわじ花山水

水田 進



活動のきっかけ

- 生物の多様性と美しい景観を育んできた集落が、高齢化と人口減、獣害被害による耕作放棄地の増加もあり、4世帯8人という限界集落になっています。
- この美しい豊かな自然と、生まれ故郷を消滅させたくないという思いから早期退職し、“花とみどり”による観光客や交流人口の増加を願い紫陽花園づくりを始めました。



園作りのテーマとコンセプト

“花とみどり” による桃源郷のような里山



四季をと通して
楽しめる



田んぼを活かした
ユニークな農園



小川やビオトープ
がある水辺



手作りで暖かみ
のある園作り



お年寄りにも優しい
バリアフリーな園

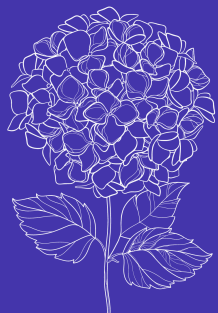


地域の拠点としての
機能を有する

源流の郷 あわじ花山水

独創性

独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



田んぼを活かしたユニークな農園

田んぼの周囲を紫陽花で囲い、額縁のような作りに。
緑と紫のコントラストが美しくなるようにしています。

独
創
性



山峡のアジサイとスイレン池



独
創
性



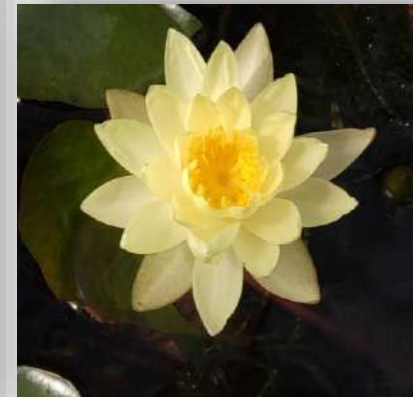
園内の様子

スイレン・キショウブ・カラーが水辺を彩っています。



園内の様子

ビオトープ周辺も彩りがでるよう設計しています。



源流の郷 あわじ花山水

四季を通した楽しみ方

独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



春の園内(1/2)

花桃や枝垂れ桜・レンギョウが水面に映えます。



春の園内(2/2)

山桜との競演が美しい源流の郷。



夏の園内

ヤマアジサイ・ハイドラングア合わせて約 70 種類 4000 株の紫陽花が見事なグラデーションを奏でています。



秋の園内

四季を通してさまざまな木花が楽しめる園内です。

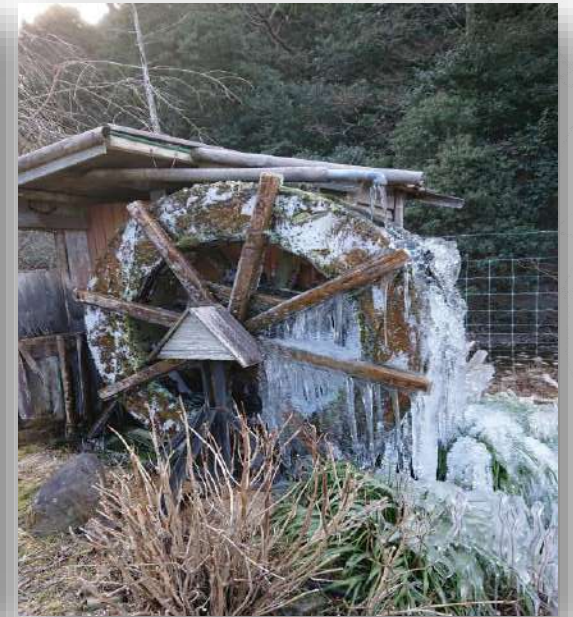
四季通した楽しみ方



冬の園内

冬には湖面が氷に覆われ、雪化粧をした里山の景観を見ることができます。

四季通した楽しみ方



源流の郷 あわじ花山水

地域社会との連携

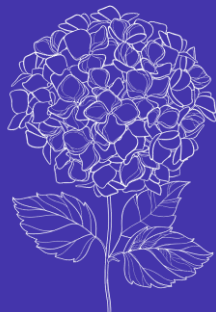
独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



域学連携との交流拠点として

地域と教育機関が連携した「域学連携」において、住民と大学生との交流の拠点になっています。



保育園児が大自然と生態系を学ぶ

地域の保育園の園児たちがメダカやカエル、アカハライモリなどを探している様子。



バリアフリーな園内

介護施設からの団体のお客様も楽しめるよう、お年寄りに優しいバリアフリーな園内。



源流の郷 あわじ花山水

地域資源の活用

独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



小水力発電の導入

集落内にある用水路を活かした小水力発電の導入を行い、集落・園内の電灯や監視カメラへの利用を行っています。

視察団体への小水力発電システムの説明の様子



外部の団体・企業



域学連携の大学生



環境学習で訪れる
市内の学生

環境学習の場として

園内で生育する動植物や生産物、施設設備を通した環境学習の場になっています。



原木椎茸栽培の説明



小水力発電概要説明



水槽内の生き物の説明

地形を活かしたロングトレイル

園のある竹原集落の背後に位置する柏原山道山道を活かし、集落を拠点にした淡路島一周構想の推進。



源流の郷 あわじ花山水

環境の維持

独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



特定外来植物のナルトサワギクの除去 & 花ビラ染色

外来植物として繁殖が広がるナルトサワギクの除去や活用にあたり、兵庫県立大学景観園芸学校院生によって開催された染色イベントの様子



ナルトサワギクの生態の解説



ナルトサワギクの採集



染色への活用

森林伐採を伴うソーラー発電の設置反対運動の継続

急傾斜地で土砂災害警戒区域でもあり、景観を破壊する恐れがあるため看板を設置しています。

景観を守る活動



アジサイの商品化

観光農園で楽しんでいただいたアジサイをドライフラワーにして商品化しています。



源流の郷 あわじ花山水

波及効果

独創性



四季を通した
楽しみ方



地域社会
との連携



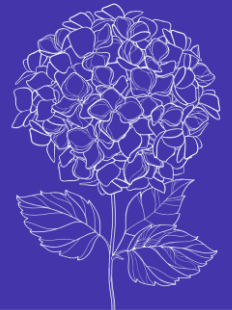
地域資源
の活用



環境の維持



波及効果



集落内にレストランが開店

月ごとにメニューが変わり、世界の料理やスイーツが楽しめるレストランが開店しました。



集落内に待望の集会所兼憩いの場

地域おこし協力隊員として30代（家族4名）が東京から移住し、現在集落の古民家を改修。地域の集会所へとなる予定です。



原木椎茸栽培の継業

長年栽培していた原木椎茸を継業してくれる京都からの若者夫婦により、40年続いた集落の産業が、次の担い手へバトンを渡すことができました。



淡路
原

竹原椎茸

GENBOKU SHIITAKE
AWAJISHIMA TAKEHARA JAPAN

椎茸狩りと炭火焼



共同作業が楽になった

若者の移住により集落の道づくり・草刈り等の作業が楽になりました。
(実働者2名→7名)

集落の清掃活動の様子



交流・関係人口のさらなる増加

「ひょうごさとまちガイドラボ」の支援により、集落内に外部団体を招いた企画（ウェディングロケーションフォト）が形となり、新たな交流・関係人口が生まれています。

ロケーションフォトの様子



今後の展開

様々な活動を展開し「あわじ花山水」を開放したことにより、観光や交流、関係人口の増加をもたらし、消滅寸前の集落から脱却することができました。

これからも自然豊かな集落が“花とみどり”によって、さらに拡大発展できるように取り組んでまいります。

ご高覧ありがとうございました。

水田 進